

## 《行事・祭礼》

### 瓜生野百八松明



南矢名の瓜生野地域に古くから伝わる行事で、米や麦などの五穀豊作や悪い病気から身を守ることを願って行われてきた。8月14日の夕方、麦わらで作った松明を

権現山からふもとの龍法寺まで肩にかついで下山する。最後は龍法寺前で松明を大きく振り回す。1975年(昭和50)市重要文化財に指定。

### 子どもまつり

毎年5月5日の子どもの日に中央運動公園で開催。会場では、ポン菓子や綿菓子・焼きそばなどの出店、スポーツゲーム、昔遊び、凧づくり、ミニ動物園な



どがあり、子供たちが楽しめるイベントが行われる。また、隣接の水無川緑地では4月29日～5月5日まで200匹余りの鯉のぼりが大空を泳ぐ。

## 白笹稲荷の初午

江戸時代初期は「白篠」の文字が用いられていた。1774年（安永3）に伏見稲荷を祭って再建された。関東三大稲荷の一つに挙げられ、毎年2月の初午には、五穀豊穡、商



売繁盛を祈って祭りが行われ、各地から大勢の参拝者が訪れる。

## 健速神社の祭礼



神社の本殿は、1636年（寛永13）建立された市内最古の本殿で、2003年（平成15）に市重要文化財に指定された。毎年9月に

みこし  
神輿が家々の門前で焚く麦わらの火を渡りながら、神社に奉納される勇壮な「火渡り神輿」が行われる。

## どんど焼



正月に行なわれる道祖神祭りの名称のひとつで、他にも「ダンゴヤキ」(西田原・蓑毛・上地区)、「サイトバライ」(横野・平沢地区)の呼び名がある。1月14日に松飾りや注連縄を燃やし、そこで焼いた団子を食べると風邪をひかないという謂れがある。

## 秦野市商工まつり

市の産業まつりとして、  
1976年(昭和51)から開催。  
市内の代表的な地場産業や中  
小企業の技術を紹介すると共  
に、各種組合によるサービスや  
催し物が行なわれる。毎年5月  
第4土・日曜日に開催される。



## 秦野たばこ祭



たばこ祭は 1948 年（昭和 23）に煙草耕作者の慰安を目的に開催されたのが始まり。市内最大の観光イベントとして毎年 9 月第 4 土・日曜日開催される。

## 秦野丹沢まつり



1957 年(昭和 32) から西秦野町が行ってきたが、西秦野町が秦野市との合併により、山開きと合わせて開催されるようになった。第 8 回から 4 月第 3 日曜日の開催となり、表丹沢に春の訪れを告げる観光イベントとなった。

## ピースキャンドル



2008年(平成20)に、8月15日を「秦野市平和の日」として制定したが、平和の尊さを実感するイベントとして、市民がペットボトルで手作りしたピースキャンドルに、広島平和記念公園の「平和の灯」から採火した火を点火する。